

消化器外科(肝胆膵)レジデント研修カリキュラム

がん医療の専門研修

研修目的

肝・胆道・膵の悪性腫瘍の診断と治療に関して研修する。

研修目標

1. 肝胆膵領域の悪性腫瘍に関する診断学、病態生理を習得する
2. 肝胆膵領域の悪性腫瘍の特性に合わせた手術、化学療法、放射線などの治療法の適応について理解、判断できる
3. 疾患の特異性、並存疾患、術式、手術侵襲を把握し適切な周術期管理が行える
4. 肝胆膵領域の悪性腫瘍に対する標準的手術の適応を理解し、適切に実施できる
5. 総合研修の一環として消化器外科専門医、肝胆膵外科学会高度技能専門医取得のための研修も可能である

年度別到達目標

全年次を通して

1. 研修医各自の目標及び習熟度により異なるが、各種手術の助手を経験した後に、術者となり、指導医のもと、肝胆膵高難度手術へステップアップする

2. 国内外の学会に出席、発表し、それについて論文を作成する
3. 臨床研究所部門との共同研究を行い、国際学会(ASCOGI、ESMO等)で発表し、英文論文化する

指導体制

部長をはじめとするスタッフが指導に当たる(日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、指導医、日本膵臓学会指導医、内視鏡外科学会技術認定医)。

研修内容

1. 各種肝胆膵悪性腫瘍に対する周術期管理を習得する
2. 指導医のもと、術者としてはじめは肝部分切除、肝外側区域切除、郭清を伴わない膵体尾部切除などより執刀し、習熟度に応じて高難度肝胆膵外科手術へステップアップする

レジデントが執刀する高難度胆膵外科手術は以下である

肝胆道手術

肝葉切除および拡大肝葉切除、肝中央二区域切除、区域切除;後区域、前区域、内側区域(外側区域は除く)、亜区域切除

(S1,S2,S3,S5,S6,S7,S8,であり、原則として非定型的部分切除は除く)

胆管切除を伴う肝切除(ただし、肝葉切除および肝 S4a+S5 切除以上)、胆嚢胆管切除+胆管消化管吻合(先天性胆道拡張症に対するもののみ)

膵臓手術

膵全摘術(残膵全摘も含む)、膵頭十二指腸切除、膵体尾部切除
(D2リンパ節郭清を伴った膵癌に限る)

血管合併切除再建

門脈切除再建を伴う肝胆膵領域の手術

3. 消化器内科・外科合同カンファレンスをはじめとする各種カンファレンスに参加し、診断、エビデンスに基づいた治療方針の決定を習得する
4. 画像診断及び病理所見を手術所見にフィードバックさせる貴重な機会として病理カンファレンスに参加する。
5. 国内外の学会発表を行い、後に論文を作成する。英文を推奨する。臨床研究所との共同研究は国際学会で発表し、英文で論文化する。

週間スケジュール

手術日： 月、水、(木)、金

外来日： 火、木曜日

肝胆膵 外科・内科・放射線科カンファレンス： 火曜日

病理カンファレンス： 1回/月

研修評価方法

部長及び指導医より逐次評価を受ける。年に一度目標達成度をチェックし
次年度の目標を立てる。

最終改訂：令和4年3月16日